



皆様、残暑お見舞い申し上げます！

立秋とは名ばかりで、うだるような暑い日が続きますが皆様いかがお過ごしですか？

今月のTTAK新聞もそんな暑さも忘れさせてくれるような明るい内容です！

特集！ 有資格者に聞く！

第6病棟 岡本千嘉子看護師 糖尿病療養指導士について

今回、第6病棟の岡本千嘉子看護師が修得された糖尿病療養指導士について詳しくお伺いしました。今日は、お忙しいところありがとうございます。

Q：なぜこの資格を取ろうと思われましたか？

A：糖尿病の学習入院で糖尿病教育に関わっているため、資格を取ってみようと思いました。

Q：資格の内容を教えてください。

A：日本糖尿病療養指導士とは、日本糖尿病療養指導士認定機構により認定される資格で、糖尿病とその療養指導に関する幅広い専門知識を持ち、患者様の生活を理解し、適切な自己管理が出来る様、援助する役割を持つ、看護師、栄養士、薬剤師、臨床検査技師、理学療法士に与えられる資格です。平成12年より認定された資格で、第一回試験合格者4364名 第二回試験合格者2037名 第三回試験合格者2028名 第四回試験合格者1597名 第五回試験合格者発表未定。と、現在第五回の試験まで終了しています。次回の第六回認定試験は、平成18年の3月にあると思います。

Q：たくさんの方がこの資格に興味を持ちチャレンジされているんですね。では受験に際してどのような準備をされましたか？

A：糖尿病療養指導士受験ガイドブックを夏ぐらいにはりきって購入し、認定試験の一ヶ月程前からガイドブックを見ました。



Q：なかなか心強いお言葉です。では、勉強にかかった費用はいくらですか？また勉強に当てた期間はどのくらいですか？

A：5万円＋講習への交通費です。本格的に勉強に取り組んだのは受験の一ヶ月くらい前にガイドブックと問題集で勉強しました。

Q：受験勉強をされる上で苦労したことはありますか？

A：普段、机に向かってじっと勉強することがあまりないので、仕事が終わって、机に向かうと睡魔との闘いでなかなかじっくりと勉強できなかったことです。

Q：仕事と勉強の両立は大変だったでしょうね。では、その資格の更新に必要な手続きはありますか？

A：資格の有効期限は5年で、5年間の間に必要な単位を取るための研修会への参加と5年後の更新時に指導した症例を10例提出する必要があります。

Q：今後の抱負を教えてください。

A：今まで私自身、指導らしい指導ができていなかったのを機に看護師として指導の仕方を見直して、患者様個人にあった指導ができるように指導グループで話し合っていきたいと思っています。そして、糖尿病療養指導グループ以外の病棟スタッフにも糖尿病患者教育に興味を持ってもらえるように情報の提供などしていけたらいいなと思っています。今回糖尿病療養指導士という資格を取得したものの、まだまだ指導のスキルに関して知識に関して未熟な点ばかりです。院内の先輩療養指導士さん達にもいろいろご指導いただきながら『療養指導士です』と自信を持って答えられるように頑張っていきたいです。

皆様いかがでしたか？

播磨病院も糖尿病学習入院の3日間コースを導入し、ますます今回取材した糖尿病療養指導士の活躍が期待されますね！暑い夏が続きますが頑張りましょう！

**しぶい
夏に
アイト!**

次回は…、検査科の

分元彰宏さんで、細胞

検査士についてです。

おたのしみにおね〜♪

T T A K新聞のバックナンバーは、播磨病院のホームページ <http://www.harima-hp.jp/main.htm> からご覧になれます。